

【レスリング】

全国中学生選抜大会

11月27日から28日にかけて、東京都知事杯全国中学選抜選手権大会が、駒沢オリンピック公園総合運動場(東京都世田谷区)で開始されました。

新型コロナウイルス感染症の影響で2年ぶりの開催となった本大会には、アカデミー生4名が参加しました。男子48kg級に出場した吉田アリヤ君は前回大会(38kg級)に続いて優勝し2大会連続優勝、女子54kg級に出場した内田颯夏さんは1ポイントも失うことなく優勝し、前回大会(46kg級)に続いての2大会連続優勝となりました。男子62kg級の高根澤虎白君は2回戦敗退、女子58kg級の吉川華奈さんは14位でした。



写真: 矢吹建夫/日本レスリング協会

優勝まで6試合を戦い抜いた吉田君

【卓球】

世界ユース選手権大会

2021世界ユース卓球選手権大会が11月30日から12月8日までポルトガルで開催され、アカデミーからは木原美悠さん、小塩遥菜さん、松島輝空君、小塩悠菜さんの4名が出場しました。

これまで世界ジュニア選手権大会と呼ばれていた大会が名称を変えたことに伴い、U15とU19の2つの年代で試合が行われ、U15では、松島君が男子シングルス、男子ダブルス、混合ダブルスでそれぞれ優勝し、3冠を達成しました。U19では、木原さんが混合ダブルスで優勝し、2019年に続いて2大会連続での優勝となりました。(2020年は大会中止)

選手たちにとって久しぶりの国際大会となりましたが、全員が健闘し、成果とともに次につながる課題を得ることができた大会でした。

【U19】

- ・男子団体戦 松島輝空他 3位

- ・女子団体戦 木原美悠、小塩遥菜他 3位
- ・女子シングルス 木原美悠 2位
- ・女子ダブルス 木原美悠/小塩遥菜 3位
- ・混合ダブルス 木原美悠他 優勝

【U15】

- ・男子シングルス 松島輝空 優勝
- ・男子ダブルス 松島輝空他 優勝
- ・混合ダブルス 松島輝空他 優勝
- ・女子団体戦 小塩悠菜他 優勝



写真: World Table Tennis

U19混合ダブルスで2年連続優勝を果たした木原さん(写真右)

全日本選手権大会(カデットの部)

10月29日から31日にかけて、2021年全日本卓球選手権大会(カデットの部)は愛知県豊田市で開催され、渡部民人君と小塩悠菜さんが参加しました。

全国約10万人の頂点を目指すシングルスにおいて、13歳以下の男子シングルスでは渡部君がベスト8、14歳以下の女子シングルスでは小塩さんが3位で銅メダルを獲得しました。また、女子ダブルスでは小塩さんが2位で銀メダル獲得となりました。

【フェンシング】

全日本選手権大会

11月6日、第74回全日本フェンシング選手権大会決勝が、六本木ヒルズアリーナ(東京都港区)で開催されました。坪颯登君は、11月に開催された大会でのケガにより出場できませんでしたが、アカデミー修了生が多数参加しました。

男子フルーレ決勝では永野雄大君と安部慶輝君、女子サーブル決勝は江村美咲さん対高嶋理紗さんのアカデミー修了生同士の戦いとなり、永野君、高嶋さんがそれぞれ優勝しました。

【ライフル射撃】

ジュニアエアガン大会

11月5日から7日にかけて、つつがライフル射撃場(広島県山県郡安芸太田町)で2021年度ジュニアエアガン大会が開催され、アカデミーから西田葵さんと山田咲来さんが出場しました。

女子エアライフルに出場した山田さんは2位、女子エアピストルに出場した西田さんは4位と、それぞれ成果を残すことができました。

【ボート】

全日本選手権大会

第99回全日本選手権大会が10月27日から31日にかけて、戸田ボートコース(埼玉県戸田市)で開催され、瀬川咲新さんと井上幸乃さんが女子ダブルスカルで出場しました。

全日本選手権は、社会人や大学生が多く出場する日本最高峰の大会で、予選、準決勝、決勝ともにスタートから先行されて後を追うレース展開となりました。しかし、自分たちのレースとリズムに集中し、アカデミーのボート競技としては初めてのメダル獲得となる3位となりました。

この大会での経験を自信にしながら、次年度の代表選考に向けて、引き続き質の高いトレーニングが図られていきます。



試合後の瀬川さん(右)と井上さん(左)

東日本新人選手権大会

東日本地区の大学生を中心とした20歳以下の選手が出場する東日本新人選手権大会の第44回大会が10月16日から17日まで、戸田ボートコース(埼玉県戸田市)で開催されました。

アカデミー生からは、瀬川咲新さん、井上幸乃さん、若林はる帆さんの3名が出場し、女子ダブルスカルで瀬川・井上組が優勝、若林さんが同じ高校の選手と組んで女子ダブルスカルで2位と、アカデミー生が活躍しました。

アカデミー生にとって久しぶりの大会となりましたが、それぞれが課題を持って臨む中で、有意義な大会となりました。

【アーチェリー】

全日本選手権大会

第63回全日本ターゲットアーチェリー選手権大会が、10月23日と24日に渡ってつま恋リゾート彩の郷(静岡県掛川市)で開催されました。アカデミー生からは5名が参加し、リカーブ部門女子に出場した渋谷樹里さんが32位でナショナルチーム選考会出場権を獲得しました。

ナショナルチーム選考会

東京2020大会の会場となった夢の島公園アーチェリー場(東京都江東区)にて、11月5日から7日にかけて2022年ナショナルチーム選考会(兼アジア大会一次)およびU-20・U-17ナショナルチーム選考会が開催されました。アカデミー生から伊藤魁晟君、野田慶一郎君、松岡天丸君、大田楓子さんが参加し、144射で競い合いました。

U-20男子では伊藤君が10位、U-17男子では松岡君が合計1233点で2位、野田君が6位、U-17女子では大田さんが合計1223点で1位となり、次年度のU-17ナショナルチームに松岡君と大田さんが選抜されました。



70m先の的を狙う伊藤君

公益財団法人 日本オリンピック委員会
JOCエリートアカデミー事業
〒115-0056 東京都北区西が丘3-15-1
味の素ナショナルトレーニングセンター
TEL:03(5963)0355/FAX:03(5963)0356

JOCエリートアカデミーだよりは
以下のHPでもご覧いただけます。
<https://www.joc.or.jp/training/ntc/eliteacademy.html>